

運用報告書（全体版）

ウェリントン・トータル・リターン債券ファンド （年4回決算型）（為替ヘッジなし）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2024年11月15日から2045年11月14日までです。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	主として、以下の投資信託証券に投資します。 ・ケイマン籍外国投資信託 ウェリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券（以下「トータル・リターン・ファンド」といいます。） ・D I AMマネーマザーファンド受益証券
運用方法	①米ドル建ての国債、社債、ハイイールド債、新興国債券など（*）を実質的な主要投資対象とし、各種債券等を機動的に配分し投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。 （*）実質的に投資する債券種別等は、市況動向、投資機会等が変化することにより、大幅に変わる可能性があります。 ・各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、トータル・リターン・ファンドの組入比率は、原則として高位を維持します。 ②トータル・リターン・ファンドの運用は、ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（原則として毎年2月、5月、8月、11月の各14日（休業日の場合は翌営業日））に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

第1期 <決算日 2025年2月14日>
第2期 <決算日 2025年5月14日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ウェリントン・トータル・リターン債券ファンド（年4回決算型）（為替ヘッジなし）」は、2025年5月14日に第2期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

ウェリントン・トータル・リターン債券ファンド（年4回決算型）（為替ヘッジなし）

■設定以来の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 受 益 証 券 率	純 資 産 額
			税 分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率		
第 1 作成期	(設 定 日) 2024年11月15日	円 10,000			円 — %	— %	百万円 2,934
	1 期(2025年 2 月14日)	9,953			0 △0.5	98.8	11,496
	2 期(2025年 5 月14日)	9,712			0 △2.4	98.9	12,895

(注 1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
(注 2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。
(注 3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。
(注 4) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

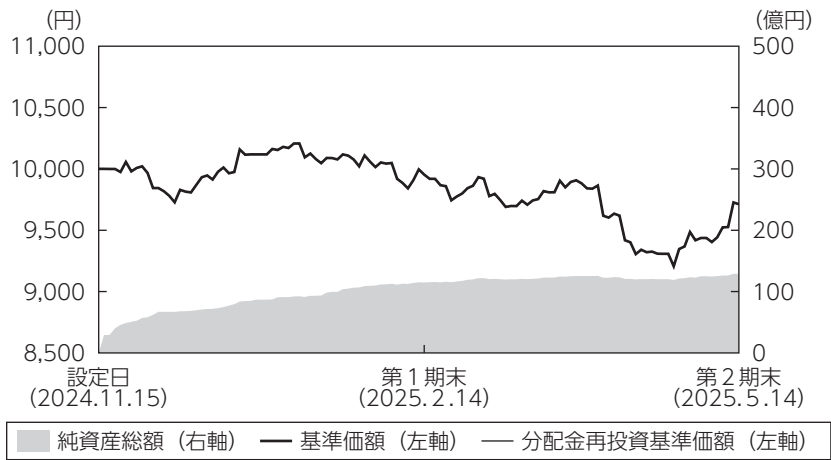
■当作成期中の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 受 益 証 券 率
			騰 落	率	
第 1 期	(設定日) 2024 年 11 月 15 日	円 10,000		% —	% —
	11 月 末	9,844	△1.6		84.8
	12 月 末	10,163	1.6		99.0
	2025 年 1 月 末	10,015	0.2		98.2
	(期 末) 2025 年 2 月 14 日	9,953	△0.5		98.8
第 2 期	(期 首) 2025 年 2 月 14 日	9,953		—	98.8
	2 月 末	9,863	△0.9		98.7
	3 月 末	9,882	△0.7		98.8
	4 月 末	9,418	△5.4		98.9
	(期 末) 2025 年 5 月 14 日	9,712	△2.4		98.9

(注 1) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。
(注 2) 騰落率は期首比（第 1 期は設定日比）です。
(注 3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第1期～第2期の運用経過（2024年11月15日から2025年5月14日まで）

基準価額等の推移



設 定 日： 10,000円
第 2 期末： 9,712円
（既払分配金0円）
騰 落 率： △2.9%
（分配金再投資ベース）
（注）設定日の基準価額は、設定
当初の金額です。

- （注1）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- （注3）基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- （注4）分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
- （注5）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ケイマン籍外国投資信託 ウェリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券（以下、「トータル・リターン・ファンド」ということがあります。）を通じて主として米ドル建ての債券に実質的に投資を行った結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。円高米ドル安が基準価額の主な下落要因となりました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ウェリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券	△2.6%
D I A Mマネーマザーファンド	0.1%

（注）ウェリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

米国国債利回りは上昇（価格は下落）しました。設定時から2025年1月上旬にかけては、米国で雇用統計や求人件数等の堅調な結果を背景に利回りは上昇しました。その後は、2月下旬にかけて中国企業が開発したAIへの警戒感等によるリスク資産の下落を受けて、利回りは低下（価格は上昇）傾向を示したものの、4月以降、トランプ政権の関税政策の不透明感やFRB（米連邦準備理事会）の独立性への懸念等により乱高下し、最終的には作成期初よりも利回りは上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは0.1%近辺で始まりましたが、その後日銀が2025年1月に政策金利を引き上げたことから、同利回りは徐々に上昇しました。

米ドルは対円で下落しました。設定時から2025年1月上旬にかけては、米金利が上昇し、日米金利差の拡大が意識されたことなどから上昇しましたが、その後、1月下旬から2月下旬にかけて、1月の日銀の利上げ実施や更なる利上げ期待を受けて、日米金利差の縮小が意識され、対円で下落しました。さらに、4月にトランプ大統領が大幅な関税引き上げを発表したことやFRB議長解任を示唆したことから、投資家の米国に対する信頼が揺らぎ、一段と対円で下落しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

トータル・リターン・ファンドの組入比率は原則として高位に維持し、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

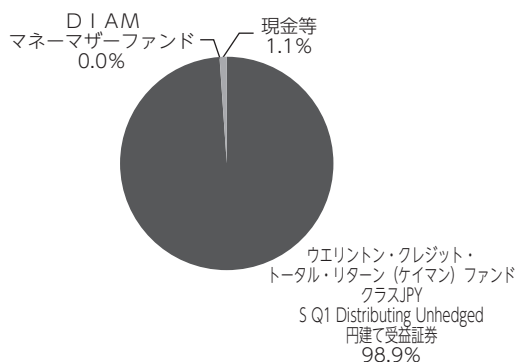
●ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券

当ファンドは米ドル建ての債券を主要投資対象とし、各種債券等を機動的に配分し投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。流動性を確保する目的で作成期中では国債やキャッシュを多く保有しており、2025年4月末時点では国債とキャッシュを合わせて6割弱保有しました。格付別構成比率ではAAA格のほか、BBB格、BB格を中心としたポートフォリオとしました。

●DIAMマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成（2025年5月14日現在） ※比率は純資産総額に対する割合です。



分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	第 1 期	第 2 期
	2024年11月15日 ～2025年2月14日	2025年2月15日 ～2025年5月14日
当期分配金（税引前）	－円	－円
対基準価額比率	－％	－％
当期の収益	－円	－円
当期の収益以外	－円	－円
翌期繰越分配対象額	24円	94円

- （注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- （注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
- （注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

債券市場および資金動向などを考慮しながら、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざし、トータル・リターン・ファンドを高位に組入れる方針です。また、国内短期金融市場や資金動向に留意しつつ、D I AMマネーマザーファンドの組入れを継続します。

●ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券

米国消費者の状況や米国の資産に対する世界的な需要、労働市場等を非常に注視しています。米国の財政懸念や金融政策の不確実性等を考慮し、長期債や短期債よりも中期債を魅力的な投資対象として考えています。社債については、更なる投資機会を待つために流動性を確保しつつ、高クオリティかつ魅力的な社債には投資を行う方針です。

●D I AMマネーマザーファンド

日銀は2025年5月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50%とする金融政策を維持しました。日銀は引き続き政策金利の引き上げを行うと見られますが、米国の関税政策の先行きなど、内外経済の不確実性が高い中では日銀は慎重に利上げを行うと見られ、今後の金利上昇は限定的なものとなるが見込まれます。そのため、今後も公社債等への投資を通じ、安定的な運用をめざします。

■ 1 万口当たりの費用明細

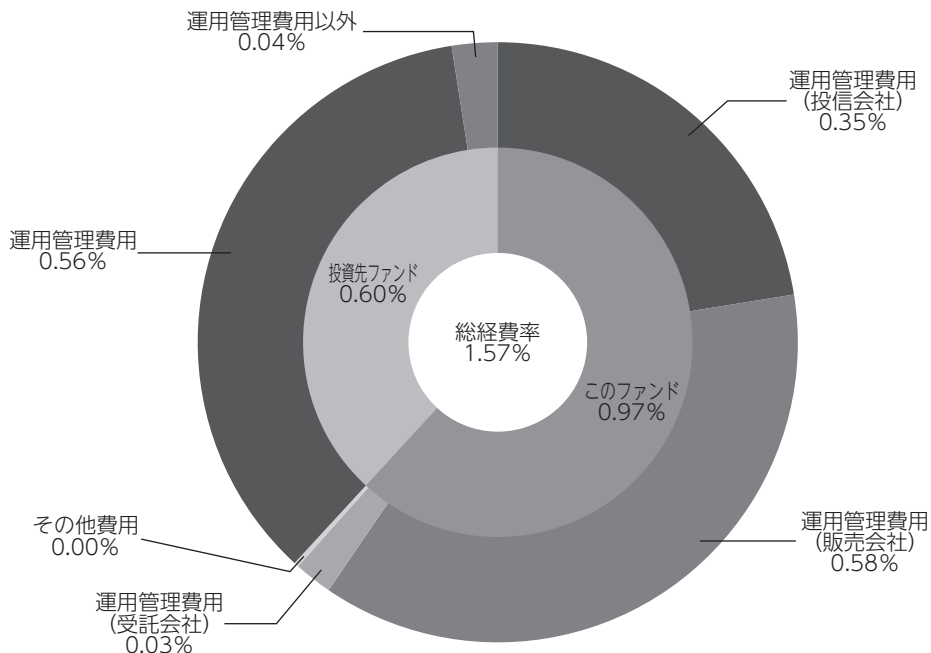
項目	第 1 期～第 2 期		項目の概要
	(2024年11月15日 ～2025年 5月14日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	47円	0.480%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,831円です。
（投信会社）	(17)	(0.175)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(28)	(0.289)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 （監査費用）	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	47	0.482	

- (注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注 3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- (注 4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.57%です。



総経費率 (①+②+③)	1.57%
①このファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2024年11月15日から2025年5月14日まで）
投資信託受益証券

		第 1 期		～	第 2 期	
		買 付			売 付	
		□ 数	金 額		□ 数	金 額
外国邦貨建	ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券	千口 1,328.08167	千円 13,203,000		千口 －	千円 －

（注）金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2024年11月15日から2025年5月14日まで）

		第 1 期		～	第 2 期	
		設 定			解 約	
		□ 数	金 額		□ 数	金 額
D I AMマネーマザーファンド		千口 2,884	千円 2,900		千口 －	千円 －

■利害関係人との取引状況等（2024年11月15日から2025年5月14日まで）
【ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド（年4回決算型）（為替ヘッジなし）における利害関係人との取引状況等】
期中の利害関係人との取引等はありません。

【D I AMマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】
期中の利害関係人との取引状況

決 算 期		第 1 期			第 2 期		
区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D／C	
公 社 債	百万円 4,195	百万円 －	% －	百万円 2,846	百万円 199	% 7.0	

平均保有割合 0.1%

（注）平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 1 作 成 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千円	%
ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged 円建て受益証券	1,328.08167	12,754,896	98.9
合 計	1,328.08167	12,754,896	98.9

（注）比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 1 作 成 期 末		
	□ 数	評 価 額	
	千□	千円	
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	2,884	2,904	

■投資信託財産の構成

2025年5月14日現在

項 目	第 1 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 12,754,896	% 98.7
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	2,904	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	170,887	1.3
投 資 信 託 財 産 総 額	12,928,687	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年2月14日)、(2025年5月14日)現在

項 目	第 1 期 末	第 2 期 末
(A) 資 産	11,526,628,962円	12,928,687,572円
コール・ローン等	169,696,141	170,887,176
投資信託受益証券(評価額)	11,354,031,379	12,754,896,358
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド (評価額)	2,901,442	2,904,038
(B) 負 債	30,194,207	33,264,187
未 払 金	10,000,000	4,000,000
未 払 解 約 金	－	475,650
未 払 信 託 報 酬	20,112,882	28,672,591
その他未払費用	81,325	115,946
(C) 純資産総額(A－B)	11,496,434,755	12,895,423,385
元 本	11,551,265,159	13,277,330,820
次期繰越損益金	△54,830,404	△381,907,435
(D) 受 益 権 総 口 数	11,551,265,159口	13,277,330,820口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,953円	9,712円

(注) 設定当初の元本額は2,934,146,812円、当作成期間（第1期～第2期）中における追加設定元本額は10,377,955,947円、同解約元本額は34,771,939円です。

■損益の状況

[自 2024年11月15日][自 2025年2月15日]
[至 2025年2月14日][至 2025年5月14日]

項 目	第 1 期	第 2 期
(A) 配 当 等 収 益	40,284,085円	118,516,096円
受 取 配 当 金	39,951,178	118,287,845
受 取 利 息	332,907	228,251
(B) 有価証券売買損益	△81,958,730	△365,118,429
売 買 益	9,179	973,257
売 買 損	△81,967,909	△366,091,686
(C) 信 託 報 酬 等	△20,194,207	△28,788,537
(D) 当期損益金(A+B+C)	△61,868,852	△275,390,870
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	－	△61,700,611
(F) 追加信託差損益金	7,038,448	△44,815,954
(配 当 等 相 当 額)	(7,690,252)	(16,067,763)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△651,804)	(△60,883,717)
(G) 合 計(D+E+F)	△54,830,404	△381,907,435
次期繰越損益金(G)	△54,830,404	△381,907,435
追加信託差損益金	7,038,448	△44,815,954
(配 当 等 相 当 額)	(7,690,340)	(16,067,779)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△651,892)	(△60,883,733)
分配準備積立金	20,091,589	109,766,812
繰 越 損 益 金	△81,960,441	△446,858,293

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 1 期	第 2 期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,091,589円	89,729,857円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収 益 調 整 金	7,690,340	16,067,779
(d) 分 配 準 備 積 立 金	0	20,036,955
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	27,781,929	125,834,591
(f) 1万口当たり当期分配対象額	24.05	94.77
(g) 分 配 金	0	0
(h) 1万口当たり分配金	0	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「D I AMマネーマザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン） ファンド

<クラスJPY S Q1 Distributing Hedged>
<クラスJPY S Q1 Distributing Unhedged>

当ファンドは「ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン籍外国投資信託／円建受益証券
主 要 投 資 対 象	米ドル建ての国債、社債、ハイイールド債、新興国債券など ^(*) を主要投資対象とします。 (*) ファンドが投資する債券種別等は、市況動向、投資機会等が変化することにより、大幅に変わる可能性があります。
投 資 態 度	①米ドル建ての国債、社債、ハイイールド債、新興国債券など^(*)を主要投資対象とし、各種債券等を機動的に配分し投資することでトータル・リターンの最大化を図ります。 (*) 投資対象には以下が含まれますがこれに限定されません。 世界（日本および新興国を含む）の公社債（自治体および政府機関を含む）、国際機関債、優先証券、劣後債、C o C o債および短期投資商品等 ②価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的に限定してスワップ取引、債券、通貨、金利に関する先渡取引等を活用します。 ③ポートフォリオの平均デュレーションは通常3～6年とすることを基本とします。 ④ポートフォリオの平均格付は、通常B B B 一格以上とすることを基本とします。ただし、特定の市場環境の結果、投資適格を下回る場合があります。 ⑤原則として、投資適格未満の格付を有する証券（無格付債券の場合には、同等の信用度を有すると投資顧問会社が判断する場合があります。）の投資割合は、純資産総額の50%を上限とします。 ⑥原則として、無格付債券への投資割合は、純資産総額の10%を上限とします。 ⑦クラスJPY S Q1 Distributing Hedgedでは、原則として米ドルで運用を行い、非米ドル通貨を取得した場合には速やかに米ドルに換金します。原則として対円での為替ヘッジを行います。クラスJPY S Q1 Distributing Unhedgedでは、原則として米ドルで運用を行い、非米ドル通貨を取得した場合には速やかに米ドルに換金します。 ⑧原則として、新興国市場の発行体が発行する証券への投資割合は、純資産総額の50%を上限とします。 ※上記は、投資顧問会社が投資目的の達成のために必要と判断した場合には、変更される可能性があります。
主 な 投 資 制 限	①デリバティブ取引は、価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。 ②外国為替予約取引は、為替相場の変動により生じるリスクを減じる目的以外には利用しません。 ③原則として、純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ④有価証券の空売りは行いません。 ⑤原則として、国債・地方債・政府保証債および国際機関債等を除いて、同一の発行体が発行する証券への投資は、純資産総額の10%以内とします。
管 理 会 社	ウエリントン・マネージメント・ファンズ・エルエルシー
投 資 顧 問 会 社	ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
受 託 銀 行	ステート・ストリート・ケイマン・トラスト・カンパニー・リミテッド
保管銀行／為替管理会社	ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー

ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンドはケイマン籍外国投資信託で、2024年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2024年12月31日現在の財務諸表の原文の翻訳を抜粋したものです。なお、クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト単位（ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンド）で掲載しています。シリーズ・トラストは複数のクラスで構成されています。

財政状態計算書
2024年12月31日現在

	2024年12月31日現在*
	単位：米ドル
資産	
流動資産	
純損益を通じて公正価値で保有する金融資産： 譲渡可能有価証券、公正価値 デリバティブ金融商品	150,512,451 35
現金および現金同等物	2,451,085
受益証券発行未収金	4,753,896
純損益を通じて公正価値で保有する資産からの未収収益 その他の債権	1,520,736 1,014
資産合計	159,239,217
負債	
流動負債	
デリバティブ金融商品	(1)
未払投資運用報酬	(77,971)
未払事務管理代行報酬	(9,585)
源泉税預り金	(333)
負債合計（償還可能受益証券所有者に帰属する純資産を除く）	(87,890)
償還可能受益証券所有者に帰属する純資産	159,151,327

* ウエリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンドは2024年11月15日に運用を開始した。

受益証券クラス ¹	純資産総額*	2024年12月31日現在 基準価額*、**	発行済受益 証券口数
日本円 S ²	1,623,398	10,146.00000	160.000
日本円 S（ヘッジあり） ²	1,589,945	9,937.00000	160.000
日本円 S Q1（分配型） ²	25,005,929,620	10,144.00000	2,465,173,731
日本円 S Q1（ヘッジあり）（分配型） ²	3,080,474	9,937.00000	310.000

¹ 特に断りのない限りすべてのクラスは累積型であり、ヘッジなしである。

² 日本円 Sクラス受益証券、日本円 S（ヘッジあり）クラス受益証券、日本円 S Q1（分配型）クラス受益証券および日本円 S Q1（ヘッジあり）（分配型）クラス受益証券は、2024年11月15日に設定された。

* すべての金額は受益証券クラスの通貨で表示されている。

** 表示目的上、日本円受益証券クラスの基準価額は、小数点以下を切り捨てて表示されている。

包括利益計算書

2024年12月31日に終了した会計期間

2024年12月31日に
終了した会計期間*
単位：米ドル

収益	
純損益を通じて公正価値で保有する資産からの収益	698,337
純損益を通じて公正価値で保有する金融資産および金融負債に係る純実現利益／（損失）	60,316
純損益を通じて公正価値で保有する金融資産および金融負債に係る未実現利益／（損失）の純変動額	(1,140,422)
純収益／（損失）合計	(381,769)
運用費用	
投資運用報酬	(77,971)
事務管理代行報酬	(12,476)
運用費用合計	(90,447)
運用利益／（損失）	(472,216)
税引前運用利益／（損失）	(472,216)
源泉税回収／（費用）	(333)
税引後運用利益／（損失）	(472,549)
運用による償還可能受益証券所有者に帰属する純資産の増加／（減少）	(472,549)

* ウェリントン・クレジット・トータル・リターン（ケイマン）ファンドの包括利益計算書は、2024年11月15日（運用開始日）から2024年12月31日までの期間について表示されている。

投資明細表
2024年12月31日現在

公正価値 (米ドル)			純資産比率 (%)				
2024年12月31日現在			2024年12月31日現在				
譲渡可能有価証券							
確定利付債券							
通信	1,763,370	1.11	運輸	760,000	0.48		
金融	8,098,358	5.09	米国債	107,733,055	67.69		
資本財、サービス	24,341,809	15.29	公益事業	6,281,313	3.95		
非米国政府債	629,546	0.39	確定利付債券合計	150,512,451	94.57		
不動産	905,000	0.57	譲渡可能有価証券合計	150,512,451	94.57		
デリバティブ金融商品2024年							
為替予約							
満期日	購入金額	売却金額	カウンターパーティー	未実現利益 ／(損失) (米ドル)	純資産比率 (%)		
ヘッジありクラスの為替予約							
2025年1月31日	日本円	1,627,413	米ドル	10,373	ステート・ストリート・バンク	12	0.00
2025年1月31日	日本円	3,153,115	米ドル	20,097	ステート・ストリート・バンク	23	0.00
2025年1月31日	米ドル	502	日本円	78,710	ステート・ストリート・バンク	(1)	(0.00)
2025年1月31日	米ドル	259	日本円	40,624	ステート・ストリート・バンク	—	(0.00)
為替予約に係る未実現利益					35	0.00	
為替予約に係る未実現損失					(1)	(0.00)	
為替予約合計					34	0.00	
公正価値がプラスのデリバティブ金融商品合計 2024年					35		
公正価値がマイナスのデリバティブ金融商品合計 2024年					(1)		
デリバティブ金融商品合計2024年					34		
					公正価値 (米ドル)	純資産比率 (%)	
純流動資産							
現金および担保 ¹					2,451,085	1.54	
その他の資産／（負債）純額					6,187,757	3.89	
ファンドの純資産合計					159,151,327	100.00	

¹ すべての保有現金は、ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニーで保有されている。

D I A Mマネーマザーファンド

運用報告書

第16期（決算日 2025年4月7日）

（計算期間 2024年4月6日～2025年4月7日）

D I A Mマネーマザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにＣＤ、ＣＰ、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 中 率		債券 組入比率	新株予約権 付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純 資 産 総 額
		期 騰	落				
12期(2021年4月5日)	円	%		%	%	%	百万円 1,064
13期(2022年4月5日)	10,080	△0.1		62.4	—	—	1,192
14期(2023年4月5日)	10,071	△0.1		71.8	—	—	1,253
15期(2024年4月5日)	10,063	△0.1		62.0	—	—	483
16期(2025年4月7日)	10,055	△0.1		81.1	—	—	3,881
	10,065	0.1			—	—	

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

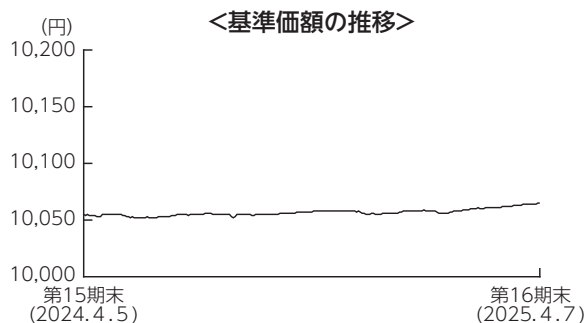
(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	新株予約権付 社債(転換社債) 組入比率	債 先 物 比 率
(期 首) 2024年 4 月 5 日	円 10,055	% —	% 62.0	% —	% —
4 月 末	10,055	0.0	56.0	—	—
5 月 末	10,052	△0.0	79.1	—	—
6 月 末	10,055	0.0	82.7	—	—
7 月 末	10,053	△0.0	74.7	—	—
8 月 末	10,055	0.0	82.6	—	—
9 月 末	10,057	0.0	82.6	—	—
10 月 末	10,058	0.0	86.8	—	—
11 月 末	10,056	0.0	77.5	—	—
12 月 末	10,059	0.0	82.4	—	—
2025年 1 月 末	10,058	0.0	78.9	—	—
2 月 末	10,061	0.1	81.6	—	—
3 月 末	10,064	0.1	81.1	—	—
(期 末) 2025年 4 月 7 日	10,065	0.1	81.1	—	—

(注 1) 騰落率は期首比です。
(注 2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2024年4月6日から2025年4月7日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,065円となり、前期末比で0.1%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いました。当期間は、保有債券からの利息収入などがプラスに影響し、前期末比で基準価額は上昇しました。

投資環境

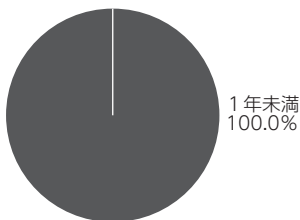
国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りはゼロ近辺で始まりましたが、日銀が2024年7月、2025年1月に政策金利を引き上げたことから、同利回りは徐々に上昇しました。

ポートフォリオについて

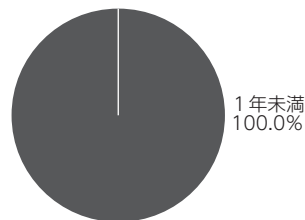
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比 期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀は2025年3月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50%とする金融政策を維持しました。日銀は引き続き政策金利の引き上げを行うと見られますが、米国の関税政策の先行きなど、内外経済の不確実性が高い中では日銀は慎重に利上げを行うと見られ、今後の金利上昇は限定的なものとなるが見込まれます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

■ 1 万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況（2024年 4 月 6 日から2025年 4 月 7 日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	内 国債証券	11,312,467	3,666,456 (4,800,000)

（注 1）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。
（注 2）（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等（2024年 4 月 6 日から2025年 4 月 7 日まで）

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	当			期		
区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B / A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	D / C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公 社 債	11,312	1,099	9.7	3,666	199	5.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	千円 3,150,000	千円 3,147,577	% 81.1	% —	% —	% —	% 81.1
合 計	3,150,000	3,147,577	81.1	—	—	—	81.1

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第 2 位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)	%	千円	千円	
1 2 6 1 回 国庫短期証券	—	100,000	99,997	2025/04/10
1 2 8 0 回 国庫短期証券	—	300,000	299,979	2025/04/14
1 2 8 3 回 国庫短期証券	—	400,000	399,908	2025/04/28
1 2 6 7 回 国庫短期証券	—	400,000	399,844	2025/05/12
1 2 8 9 回 国庫短期証券	—	500,000	499,730	2025/05/26
1 2 9 0 回 国庫短期証券	—	400,000	399,752	2025/06/02
1 2 3 8 回 国庫短期証券	—	50,000	49,960	2025/06/20
1 2 7 9 回 国庫短期証券	—	300,000	299,715	2025/07/10
1 2 4 4 回 国庫短期証券	—	100,000	99,900	2025/07/22
1 2 9 1 回 国庫短期証券	—	400,000	399,372	2025/09/10
4 5 7 回 利付国庫債券（2 年）	0.1000	200,000	199,420	2026/02/01
合 計	—	3,150,000	3,147,577	—

■投資信託財産の構成

2025年 4 月 7 日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 3,147,577	% 81.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	734,394	18.9
投 資 信 託 財 産 総 額	3,881,972	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第 2 位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月7日)現在

項	目	当 期 末
(A) 資	産	3,881,972,229円
コ	等	734,359,151
一		
ル		
・		
コ	債(評価額)	3,147,577,500
公		
社		
未	利	21,880
前	息	
	用	13,698
	費	
(B) 負	債	—
(C) 純	資 産 総 額(A－B)	3,881,972,229
元		
	本	3,856,870,274
次		
期	益	25,101,955
繰	金	
越		
損		
益		
(D) 受	口 数	3,856,870,274口
益		
権		
総		
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C／D)		10,065円

(注1) 期首元本額	481,233,562円	One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド (成長型)	9,943,324円
追加設定元本額	9,658,635,020円	One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド (毎月決算・予想分配金提示型)	1,988,665円
一部解約元本額	6,282,998,308円	期末元本合計	3,856,870,274円
(注2) 期末における元本の内訳			
バンクローン・ファンド (ヘッジなし)	15,843,407円		
バンクローン・ファンド (ヘッジあり)	13,867,169円		
バンクローン・ファンド (ヘッジなし／年1回決算型)	1,088,285円		
バンクローン・ファンド (ヘッジあり／年1回決算型)	98,095円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド4月号	11,377円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド5月号	98,027円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド6月号	989,197円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド7月号	395,083円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド8月号	494,102円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド9月号	494,102円		
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジあり>	791,316円		
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>	2,474,972円		
One／フェルマット・CAT債券ファンド (年4回決算型) (為替ヘッジなし)	4,968,204円		
One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド (毎月決算・予想分配金提示型)	9,939円		
ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジあり)	9,940円		
ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド (年4回決算型) (為替ヘッジあり)	9,940円		
ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジなし)	5,768,275円		
ウエリントン・トータル・リターン債券ファンド (年4回決算型) (為替ヘッジなし)	2,884,138円		
クルーズコントロール	3,674,777,764円		
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円		
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円		
マシューズ・アジア株式ファンド	14,723,185円		
One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円		
One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円		
One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円		
世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)	99,109円		
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	188,380円		
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	109,063円		
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジあり)	297,442円		
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジなし)	118,977円		
ファンドスミス・グローバル・エクイティ・ファンド	99,255,584円		
PIMCOストラテジック・インカム・ファンド (為替ヘッジあり)	301,134円		
PIMCOストラテジック・インカム・ファンド (為替ヘッジなし)	1,493,740円		

■損益の状況

当期 自2024年4月6日 至2025年4月7日

項 目					当 期
(A) 配 当 等 収 益					3,728,764円
受 取 利 息					3,728,764
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益					△700,961
売 買 益					737,456
売 買 損					△1,438,417
(C) 当 期 損 益 金(A + B)					3,027,803
(D) 前 期 繰 越 損 益 金					2,634,728
(E) 解 約 差 損 益 金					△35,655,556
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金					55,094,980
(G) 合 計(C + D + E + F)					25,101,955
次 期 繰 越 損 益 金(G)					25,101,955

(注 1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注 2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
(注 3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》
約款変更のお知らせ

■投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年4月1日)